

科目名	財務会計基礎				
授業形態	講義	学年	2		
開講時期	2021年度 前期	単位数	2		
担当教員	大橋 良生				
内容および計画	財務会計は社会制度として成立している会計であり、主として企業に資金を提供する人々に対して、企業内部における資金の運用状況とその成果を明らかにすることを目的としている。運用状況とその成果は、財産計算と期間損益計算を通じて、財務諸表で開示される。本講義では、計算体系である複式簿記・会計処理に理論的な根拠を与える会計理論や関連する会計制度を取り上げ、企業の経済活動が認識・測定・記録・報告されるプロセスを解説する。				
1	<ul style="list-style-type: none"> <li>■ ガイダンス</li> <li>■ 会計の種類と役割(1)</li> </ul> アカウンティング・サーフィン/会計の種類				
2	<ul style="list-style-type: none"> <li>■ 会計の種類と役割(2)</li> </ul> 財務会計への法規制/財務会計の役割				
3	<ul style="list-style-type: none"> <li>■ 財務会計のシステムと基本原則(1)</li> </ul> 財務会計のシステム				
4	<ul style="list-style-type: none"> <li>■ 財務会計のシステムと基本原則(2)</li> </ul> 複式簿記の構造/損益計算の方法/会計基準				
5	<ul style="list-style-type: none"> <li>■ 財務会計のシステムと基本原則(3)</li> </ul> 会計基準				
6	<ul style="list-style-type: none"> <li>■ 財務会計のシステムと基本原則(4)</li> </ul> 損益計算の基本原則/資産評価の基本原則				
7	<ul style="list-style-type: none"> <li>■ 企業の設立と資金調達(1)</li> </ul> 企業の諸形態/株式会社の設立				
8	<ul style="list-style-type: none"> <li>■ 企業の設立と資金調達(2)</li> </ul> 企業の資金調達/社債				
9	<ul style="list-style-type: none"> <li>■ 仕入・生産活動(1)</li> </ul> 営業循環と棚卸資産/商品の仕入と買入債務				
10	<ul style="list-style-type: none"> <li>■ 仕入・生産活動(2)</li> </ul> 製品の製造原価/人材の雇用と人件費				
11	<ul style="list-style-type: none"> <li>■ 販売活動(1)</li> </ul> 売上の認識と測定				
12	<ul style="list-style-type: none"> <li>■ 販売活動(2)</li> </ul> 売上原価の計算/売上代金の回収				
13	<ul style="list-style-type: none"> <li>■ 販売活動(3)</li> </ul> 棚卸資産の期末評価/販売活動と財務諸表				
14	<ul style="list-style-type: none"> <li>■ 設備投資と研究開発(1)</li> </ul> 製造業と商業の資産構成/固定資産の種類/有形固定資産の取得原価				
14	<ul style="list-style-type: none"> <li>■ 設備投資と研究開発(2)</li> </ul> 減価償却の方法/減価償却の実務/固定資産の減損				
15	<ul style="list-style-type: none"> <li>■ 設備投資と研究開発(3)</li> </ul> 研究開発活動と無形固定資産/設備投資および研究開発と財務諸表				
教科書					
	タイトル	著者名	出版社	ISBN	発行年
	財務会計・入門〔第14版〕	桜井久勝・須田一幸	有斐閣アルマ	9784641221765	2021

上記書籍の最新版を用いる。	
<b>参考書</b>	桜井久勝『財務会計講義（第21版）』中央経済社，2020年（ISBN9784502347818）
<b>成績評価</b>	
	<b>評価方法</b>
	<b>割合(%)</b>
課題・小テスト	40
定期試験	60
<b>学習到達目標</b>	財務会計の基本的な理論を理解し，企業活動と財務諸表との関連性の理解を深める。
<b>先修条件</b>	特になし。ただし，会计学入門，簿記演習，商業簿記，応用簿記，工業簿記，原価計算，管理会計基礎を履修済み・履修していることが望ましい。
<b>実務経験</b>	
<b>その他</b>	「財務会計基礎」と「財務会計」は，主に一連の企業活動と財務諸表との関連性を学習範囲としているため，両科目をセット履修することを勧める。なお，授業では，電卓を携帯すること（携帯電話を除く）。